



本書は、既刊の『台湾時報総目録』、『台湾警察協会雑誌・台湾警察時報総目録』に続く「台湾統治期重要雑誌総目録シリーズ」の第三冊目として刊行するものである。

台法月報社発行『台法月報』（明治38年6月～同39年11月）は、全17冊で、その「発行ノ趣旨」によれば、「本島ハ嘗テ支那ニ付屬シタルヨリ民事及商事其他間斷ナク社会ニ發生スル事實及ビ行為ニ付一定不動ノ制規ニ乏シ」く「法治国家タル我帝国ノ一部ト為リタル以上ハ之ヲ補充スベキ法令ノ頒布勢ヒ此土ニ滋カラザルヲ得ズ」との理由で、「台湾ニ関スル法令及ビ判例ヲ紹介シ以テ実務家」に提供する意図によって創刊された。

この『台法月報』に先立つ明治34年1月、「法律は習慣にあらざる然れども法律は其の源を習慣に汲まざるを得ず」との観点から、台湾の慣習調査及び研究成果の発表誌として『台湾慣習記事』が台湾慣習研究会から発行された。つまり、『記事』は台湾独自の法制の確立をめざしての台湾旧慣を調査研究したのであるが、一方ではそれと並行して台湾に関する法令や民事刑事判決は日々下されるわけだから、それを「紹介」しなければならず、そこで発行されたのが台法月報社『台法月報』であった。

明治40年8月、「当今台湾に於ける習慣上の調査研究は、其の大綱要目の解決を遂げ得たり」（本会解散の辞）と宣言して台湾慣習研究会は解散し、『台湾慣習記事』も第7巻第8号を発行して廃刊になる。そして慣習上の「細項」研究は、同年6月に創刊された台湾総督府法務課に所属する法院月報発行所『法院月報』「慣習」欄に吸収され、先の『台法月報』も廃刊し、台湾の法曹界雑誌は該誌に一元化することになる。これは、台湾総督府が台湾の法治に自信を抱いた、その表明であろう。次いで明治44年1月、刑務関係誌『台湾監獄月報』を吸収合併して『台法月報』と改題し、総督府法務部、法院、検察局、監獄（刑務所）を包括する総督府関係最大の雑誌の一つになった。その内容は概ね「法令」「判例」「司法」「司獄統計」「慣習」「学説」「質疑」及び中国及び朝鮮の法制論、そして列強による植民地法制の紹介など多岐にわたる論文や翻訳が掲載されており、日本統治下台湾法制史研究に欠かせない資料を提供している。（尚、『台湾慣習記事』については天理大学や東京大学の図書館等、国内にも完揃本があるので本書には総目を収録しなかった。）

★第1号(6.24)

1 発行ノ趣旨

3 発行趣旨漢訳

▼祝詞

5 祝詞

6 台法月報発刊ノ祝辞

6 台法月報の発刊に就て一言を呈す

8 祝詞

10 台法月報発刊ノ祝詞

10 台法月報ノ発刊ヲ祝ス

11 祝詞

12 銀行業者と法科との関係よりして

14 祝詞

15 台法月報の発刊を祝して

▼法令

16 律令

台湾土地登記規則（律令三号）／

地登記税規則（律令五号）／契稅

年律令第十二号中改正（律令七号）

府令

台北電気作業所電気使用規則中改

（府令三十号）／登記所名称位置

二十八号中削除（府令三十二号）

号）／郵便切手類売下規則（府令

十五号）／地方税規則中改正（府

（府令三十七号）／製糖場取締規

（府令三十九号）／郵便貯金法二

目録

台湾総督府機関誌の中で最大の雑誌の総目録  
植民地法制史研究に必

三十八年

大島久満次  
尾立維孝  
鈴木宗言  
寺島小五郎  
松井四郎  
佐藤友熊  
柳生一義  
木村匡  
土屋理喜治  
烏糺生

台法月報の発刊を祝す

登記所設置ノ件（律令四号）／台湾土  
産規則中改正（律令六号）／明治三十三  
号）

改正（府令二十九号）／登記規則施行  
及管轄区域（府令三十一号）／府令第  
四号内地移出米規則中改正（府令三十三  
号）／府令第四号廃止（府令三  
十六号）／始政紀念絵葉書発行  
規則（府令三十八号）／戸口調査規則  
ニ関スル件（府令四十号）／法律及勅令

総目録  
必備の工具書

## 本書の構成と特色

- 本書は台法月報社発行『台法月報』（明治38年6月～同39年11月、全17冊）、及び法院月報発行所発行『法院月報』（明治40年6月～同43年12月、全44冊）とその改題誌『台法月報』（明治44年1月～昭和18年11月、全443冊）の総目録である。
- 本総目録は、第一部台法月報社『台法月報』総目録、第二部『法院月報』及び『台法月報』総目録及び「著者名索引」から成る。
- 本総目録は、各号に附されている「目次」を基本とし、掲載論文や記事類はすべて頁順に配列した。
- 論文などのタイトルが「目次」と「本文」とで異なる場合は、原則として本文に従った。
- 台法月報社発行『台法月報』、『法院月報』とその改題誌『台法月報』は、日本で全巻を通覧することはできない。ゆえに、本総目録の底本は台湾大学法学院図書館、国立中央図書館台湾分館蔵本を利用した。
- 本書『台法月報』総目録は、『台法月報』（台法月報社）と『法院月報』（法院月報発行所）そしてその改題誌『台法月報』（台法月報発行所）の三誌を含むが、改題誌『台法月報』が本総目録の大部分を占めるので、本タイトルに統一した。

## 台湾統治期重要雑誌総目録シリーズ

中島利郎 編

### 『台湾時報』総目録

A5判・上製クロス装・本体価格18,000円

中島利郎・林原文子 編

### 『台湾警察協会雑誌』 『台湾警察時報』総目録

A5判・上製クロス装・本体価格18,000円

中島利郎 編 **次回刊行**

### 『台湾青年・台湾・台湾民報 ・台湾新民報』総合目録

A5判・上製クロス装・本体価格 未定

# 『台法月報』総目録

- ◆中島利郎〔岐阜聖徳学園大学教授〕・宋宜静〔岐阜聖徳学園大学修士課程〕
- ◆全1巻・A5判上製クロス装・660頁
- ◆定価〔本体18,000円＋税〕
- ◆ISBN4-89774-026-6 C3032

緑蔭書房

東京都板橋区板橋1-13-1 ☎03(3579)5444

〈植民地下台湾関連図書〉

◆'98年7月刊〈編集復刻版〉

## 日本統治期台湾文学 日本人作家作品集

中島利郎・河原功 編

全五巻・別巻一 / 四六判・上製クロス装 / 本体価格58,000円

◆'99年7月刊〈編集復刻版〉

## 日本統治期台湾文学 台湾人作家作品集

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲 編

全五巻・別巻一 / 四六判・上製クロス装 / 本体価格58,000円

◆近刊

## 日本統治期台湾文学研究文献目録

中島利郎・河原功・下村作次郎・黄英哲 編

全一巻 / A5判・上製クロス装 / 本体価格 未定

◆'99年2月刊〈編集復刻版〉

## 改訂増補 臺灣六法

台湾日日新報社編〈昭和九年版〉

全一巻 / B5判・上製クロス装 / 本体価格50,000円

特約店